

## 福祉サービス第三者評価（総括表）

### ①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

### ②施設・事業所情報

名称： 松風園	種別： 障害者短期入所施設	
代表者氏名： 若林政秀	定員（利用人数）： 36名	
所在地： 茨城県つくば市松代2-25-10		
TEL： 029-846-7115	ホームページ： <a href="https://tokyo-sola.com/">https://tokyo-sola.com/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日： 平成27年7月10日設立		
経営法人・設置法人（法人名等）： 株式会社東京空色		
職員数	常勤職員： 5名	非常勤職員： 計47名
専門職員	（専門職の名称） 名	
施設・設備の概要	（居室数） 40	（設備等）

### ③理念・基本方針

0歳から100歳の障がい者の生活基盤を支援する。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

大規模集約型の施設

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年5月1日（契約日）～9月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### ①利用者の意向や要望を把握して活動が選択できるようにしている

・事業所では「地域生活に向けたステップアッププログラム」を策定しており、利用者一人ひとりが地域の特性を生かして地域生活に移行することを目指せるようにしている。具体的には、「自分を整える」「生活を整える」「自立生活を始める」「地域生活を始める」「地域生活を継続する」の5段階を具体的に支援するプログラムを明示している。また、日中活動は利用者の特性を配慮して、コミュニティ形成を促せるようにしている。具体的には、「敷地内での余暇活動」「日常的に実施しているラジオ体操」「週1回のレクリエーション」「畑活動」「誕生日会」「歳時記にちなんだイベント」などを開催している。

#### ②各種の記録類の整備をはじめ管理も適切になされている

・利用者一人ひとりのサービス提供内容は「利用者個人カルテ」に、生活の様子、作業所などへの就労状況、食事や水分摂取、通院や服薬状況などを1か月単位で記載できるような書式を設けて把握している。担当職員は日常的なチェックを行い申し送るとともに、月2回水曜日の10:30~12:00の時間帯で開催されている職員会議において共有や評価に取り組んでいる。さらに、利用開始時のインテーク面談に加え、定期的にケアカンファレンスを開催し、支援計画の評価や見直しに取り組むことが望まれる。

#### ③部門会議を毎月開催して事業の方向性を示唆している

・月2回水曜日の10:30~12:00の時間帯で開催されている職員会議において提起あるいは検討された事案は、毎月1回第4金曜日の13:00~に開催されている役員会議において審議する流れとしている。また、結果については職員会議において職員にフィードバックされる仕組みが整っている。毎月の共通テーマをはじめ、その都度テーマを取り決めており、合議によって意志決定していく流れが定着している。さらに、年間を通じて蓄積された課題は事業報告書において集約し、次年度計画につなげる仕組みを構築することが望まれる。

### ◇改善を求められる点

#### ①障害特性に合わせた支援の在り方について検証することが望まれる

・利用者一人ひとりの適性や人間関係などを考慮して個別支援に取り組んでいる。また、日々利用者個人カルテに生活状況を記録して円滑に個別支援が提供できるようにしている。また、意思表示や自己決定、自発性を発揮することが難しい利用者も存在するため、コミュニケーションの工夫や日頃の観察により気持ちを読み取りながら支援している。ただし今回行った職員自己評価の結果からは、支援の方向性の確立を望む声が複数聞かれている。事業所独自でアセスメントや支援計画書の作成に取り組み、利用者への支援の在り方について検証することが望まれる。

#### ②保護者とのコミュニケーションをさらに充実させることを検討されたい

・重要事項説明書には、苦情申立先として事業所の苦情受付窓口や、外部窓口としての行政機関などが明記されており、利用者・家族に説明し理解を促している。また、定期的に関

されている個人面談の機会を、意見や要望を把握できる場と捉え傾聴に努めている。今回行った利用者調査の「意見や要望は言いやすく実際に対応してくれるか」の設問に関しては、さらに高い満足度が期待される結果であった。家族と事業所の連携をさらに深める取り組みが望まれる。

**③障害分野の各種の資格取得も含めて、専門性を高めることを目指されたい**

・障害の属性が多岐にわたっていることや、利用者の高齢化や重度化は否めない中では、さらに職員個々の専門性の高さが必要とされている。関係機関が主催する専門的な研修や勉強会へ職員を派遣し、障害分野の各種の資格取得も含めて、専門性の高いサービスが提供できる体制作りを目指されたい。さらに、キャリアパス・人事評価・処遇など総合的な人事管理の諸制度の構想を早期に具体的に着手することも望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）